



のびしろクラブだより

NO. 29

発行

令和6年10月1日

ちがさき開智舎広報部

文責 井上忠義

☎ 090-9241-0271

〒253-0082 住所：茅ヶ崎市香川1-31-18

Mail: chigasaki.kaichisha@gmail.com

発行 1000部

ホームページ <http://nobisiro-club.com/>

【トピックス】

【出会いたい言葉】

「言霊」の不思議に驚く。たまたま読んだ本の文節で人生が変わったという人が多い。それも著名人に多いのはなぜだろうか。彼が読書家であることは知られているが。このような幸運はやはり紙の本の醍醐味だろう。スマホで酔う人が増えたが、読むそばから文字が消えてしまう。画面を戻せばいいんだから、手慣れた指がやってくれる。紙の本なら手間を食わない。「セントが西陣糸屋の娘 姉は18妹は15 諸国大名は刀で殺す 糸屋の娘は目で殺す」。これは文章の「起承転結」をわかりやすく言ったものだが、言いえて妙です。言葉は自分の考えや気持ちを相手に伝える道具です。だが、伝達手段としての効果は50パーセントがせいぜい。不足の残りは如何補うか。人は身体活動の五感を持ちます。「見る」「聞く」「話す」「触れる」「嗅ぐ」。どれかが具合が悪いと、他の器官が補ってくれる。こんな不思議の塊が人間なのだ。君は全部の器官をバランスよく使っているかな。完全に受かっている人はいない。プロ野球選手の一郎さんは、「95パーセントはみんな同じ。残りの5パーセントをどう使うかで違いが出てくる」と言っている。自分の行動を振り返ってみよう。何か気が付くことがあるはずだから。井上さんが大事にしている詩を、ご紹介します。とても元気が出ますよ。

【もう一步】

もう一步

いつも自分は思う

今が一番大事なときだ

もう一步

武者小路実篤

この言葉は、何が言いたいのか考えてみよう。武者小路実篤の著作集をじっくり読むと、この言葉が何を言いたいのか、きっとわかると思う。チャレンジしてください。

【固定電話とファックス】

都合により、9月末日をもって固定電話とファックスを廃止します。ご不便をおかけしますが、以後の連絡は、携帯電話か郵便物でお願いします。

【行事予定】

期末テスト：間違えた問題は、振り返り学習で必ずやり直す。

夏休み：自由研究や課題は早めに終わるようにする。

香川福祉祭り：のびしろクラブも出店します。お手伝いできる人は、接客や準備片付けをお願いします。日頃お世話になっている地域の人々と、親しく交流できるいいチャンスです。

【編集後記】

地球がやけどしそうな真夏日の連続。今年も5匹のセミが羽化しました。ギラギラ太陽を跳ね返すように、大声で鳴いてくれました。9月に入ると、庭の虫たちが夜ごと「のびしろコンサート」を開いてくれます。月夜の晩には、庭へ出て鑑賞します。今年は柿が豊作みたいです。乞うご期待。カメムシや野鳥に食われないよう監視人さんは忙しい。

【事業協賛金・寄付】

コロナ禍以降、事業協賛金や寄付が激減しました。現在も回復しません。昨今の政局も経済も流動しています。非正規雇用者が増加傾向にあり、そこここから悲鳴が聞こえます。庭の虫たちのように「今鳴かなければだめだ」と、歯を食いしばり頑張ります。事情ご賢察のうえ、さらなるご支援をお願いいたします。

個人：一口1000円以上。任意の額。

団体：一口3000円以上。任意の額。

申し訳ありませんが、振込手数料はご負担ください。

【自由投稿】

ご家庭で居眠りしている楽器をご寄付ください。機種は問いません(除くピアノ等大型)。

教科書の学習は大事です。のびしろクラブでは、勉強だけの頭でっかちでない情操豊かな学童を育てるため、学童と高齢者の合奏団を作ります。地域のイベントや施設の慰問活動等、観客を引き込んだ楽しい演奏会を予定しています。施設の入所者等は、行動の範囲が狭くなりがち。楽器を持ってもらい一緒に演奏をする。間違ってもいいんです。舞い上がったら、舌をペロッとだしにっこり笑えばおしまい。イメージしてください。楽しいでしょう。今すぐに寝ている楽器をたたきおこしてください。もうひと働きしてもらいましょう。ほこりを払って、楽器も人もみんな元気になりましょう。

「音楽は世界の共通語」といわれます。言葉はわからなくても、メロディーとボディー・ランゲージで心は通じ合います。M大学には古賀政男さんが作った老舗のマンドリン倶楽部があります。定期演奏会はもとより、世界を演奏旅行し好評を得ています。藤沢には新堀音楽専門学院があり迫力ある定期演奏会が行われます。「音楽は人を豊かにし平和な世界を創る」を、世界のだれもが大切にしています。「さあ、やりましょう」。行動はやらない恐怖を取り除きます。

「もう一步、いつも自分は思う、もう一步、今がいちばん大事なときだ、もう一步」。この言葉は、ひちゃりきな頑張りを要求するだけでない、心の余裕が含まれています。控えめに、「もう一步」。